

EPSON

製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-L30002U

EB-L30000U

更新ファームウェアについて	3	操作方法に関する変更の詳細 (Ver.5.00)	16
ファームウェア Ver.4.00の概要	4	スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)	16
オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)	4	曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)	16
ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)	4	操作方法に関する変更の詳細 (Ver.5.10)	18
メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)	4	Epson Projector Managementの操作変更	18
ファームウェア Ver.4.10の概要	5	メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.5.10)	19
メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10)	5	EPMC監視制御	19
操作方法に関する変更 (Ver.4.10)	5	付録	20
ファームウェア Ver.5.00の概要	6	一般のご注意	21
操作方法に関する変更 (Ver.5.00)	6	ご注意	21
ファームウェア Ver.5.10の概要	7	商標について	21
操作方法に関する変更 (Ver.5.10)	7	著作権について	21
メニュー項目に関する変更 (Ver.5.10)	7		
ファームウェアの変更詳細について	8		
オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 4.00)	9		
ELPEC01をサポート	9		
外付けカメラを使用する	9		
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.00)	10		
シンプルスタッキング	10		
シンプルスタッキングの動作条件	11		
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.10)	12		
コマンド通信、Web API設定およびPJLink	12		
全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定	13		
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.4.10)	14		
Web APIを使ってプロジェクターを操作	14		
ポイント補正の最大値変更	14		
Remote/パスワード設定の変更	14		
Epson Web Controlの操作変更	14		
Epson Projector Managementの操作変更	15		

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.4.00の概要」 [p.4](#)
- 「ファームウェア Ver.4.10の概要」 [p.5](#)
- 「ファームウェア Ver.5.00の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.5.10の概要」 [p.7](#)

ファームウェア Ver.4.00での変更の概要を説明します。

▶▶ 関連項目

- 「オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)」 [p.4](#)
- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)」 [p.4](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)」 [p.4](#)

▶▶ 関連項目

- 「シンプルスタッキング」 [p.10](#)

オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- 外付けカメラELPEC01

▶▶ 関連項目

- 「ELPEC01をサポート」 [p.9](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Management Ver. 5.4
- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.4

詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』および『Epson Professional Projector Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)

本バージョンでは、拡張設定メニューに以下の変更があります。

- [マルチプロジェクション] に [シンプルスタッキング] を追加

ファームウェア Ver.4.10での変更の概要を説明します。

▶▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10)」 [p.5](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.4.10)」 [p.5](#)

▶▶ 関連項目

- 「ポイント補正の最大値変更」 [p.14](#)
- 「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 [p.14](#)
- 「Remoteパスワード設定の変更」 [p.14](#)
- 「Epson Web Controlの操作変更」 [p.14](#)
- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.15](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10)

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- [その他] に [コマンド通信]、[Web API設定] および [PJLink] を追加
- [全初期化(工場出荷状態)] に [全初期化(ユーザー初期値)] と [ユーザー初期値設定] を追加

▶▶ 関連項目

- 「コマンド通信、Web API設定およびPJLink」 [p.12](#)
- 「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 [p.13](#)

操作方法に関する変更 (Ver.4.10)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Web APIを使ってプロジェクターを操作できる
- より高い画素数までポイント補正ができる
- 以下の変更により、ネットワークセキュリティーを強化できる
 - Remoteパスワード設定
 - Epson Web Control
 - Epson Projector Management

ファームウェア Ver.5.00での変更の概要を説明します。

▶▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更 (Ver.5.00)」 [p.6](#)

操作方法に関する変更 (Ver.5.00)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング&ブレンディングが追加されます。
- Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応します。

▶▶ 関連項目

- 「スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 [p.16](#)
- 「曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 [p.16](#)

ファームウェア Ver.5.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更 (Ver.5.10)」 [p.7](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.5.10)」 [p.7](#)

操作方法に関する変更 (Ver.5.10)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Managementを使うときの注意事項が追加されました。
 - [ネットワークエラー (Web制御パスワード認証エラー)] と表示される場合の対応方法を記載しました。
 - Epson Projector Managementを使ってプロジェクターのファームウェアを更新する場合の対応方法を記載しました。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.18](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.5.10)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

ネットワークメニュー

- [EPMC監視制御] を追加

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 [p.19](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 4.00)」 [p.9](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.00)」 [p.10](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.10)」 [p.12](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.4.10)」 [p.14](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.5.00)」 [p.16](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.5.10)」 [p.18](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.5.10)」 [p.19](#)

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

▶ 関連項目

- 「ELPEC01をサポート」 [p.9](#)



Epson Projector Professional Toolのソフトウェアおよび取扱説明書はWebサイトよりダウンロードしてください。

epson.jp/download

ELPEC01をサポート

ファームウェアをVer. 4.00に更新すると、お使いのプロジェクターで外付けカメラELPEC01が使用できます。

▶ 関連項目

- 「外付けカメラを使用する」 [p.9](#)

外付けカメラを使用する

オプションの外付けカメラを取り付けると、カメラアシスト機能やリモートカメラアクセスなどの拡張機能が使用できます。

拡張機能を使うことで、調整にかかる手間を軽減できます。

外付けカメラでは、一般的なカメラソリューションの利用に必要とされている下記のような作業が不要です。

- 設置場所の確保や画角調整などの事前準備
プロジェクターまたはレンズユニットに取り付けて使用するため、三脚の用意や設置スペースの確保は不要です。また、ピントや画角、露光などの調整も不要です。
- アクティベーション
Epson Projector Professional ToolやEpson Web Controlなどの無料のツールを導入するだけで、かんたんに拡張機能が利用できます。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「シンプルスタッキング」 p.10

シンプルスタッキング

[拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [シンプルスタッキング] が追加されます。

変更前の拡張設定メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		初期化
		スクリーンマッチング

変更後の拡張設定メニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		初期化
		スクリーンマッチング
		シンプルスタッキング

[シンプルスタッキング] では、複数のプロジェクターからの映像を1つに重ねた明るい映像をすばやく簡単に作成するための設定をします。

- [ポイント補正]: 投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に0.5画素ずつ移動させることで映像のゆがみを補正します。細部のゆがみが気になるときに、局所的に調整できます。
- [自動調整開始]: カメラアシスト機能を使って投写映像を自動で調整します。機能を実行するプロジェクターがマスタープロジェクターとなり、投写位置や形状の基準になります。



- 2台のプロジェクターはLANケーブルで直接接続してください。
- 事前に以下を実施してください。
 - 両方のプロジェクターで [ネットワーク] メニューの [DHCP] を [オン] に設定します。
 - マスタープロジェクターが投写する映像の位置、形状、ピントを調整します。マスタープロジェクターからの映像の形状は、[ポイント補正] の [Quick Corner] で調整してください。
 - シンプルスタッキングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約4分かかります。

▶ 関連項目

- 「シンプルスタッキングの動作条件」 p.11

シンプルスタッキングの動作条件

シンプルスタッキングを実行するときは、以下の条件を満たすことを推奨しています。

- 使用するすべてのプロジェクターそれぞれに外付けカメラ、または内蔵カメラが搭載されている
- 使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している
- そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している
- 投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている
- 外付けカメラや投写映像を遮っていない
- 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である (スクリーン照度が40ルクス以下の場合、プロジェクター1台あたり、以下の投写サイズが推奨値)
 - 9.9Klmまで：50インチ～200インチ

- 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ
- 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
- 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
- 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
- 30Klm：100インチ～500インチ
- すべてのプロジェクターが同じ解像度である
- [拡張設定] メニューの [設置モード] がすべてのプロジェクターで [フロント] または [フロント・天吊り] に設定されている

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「コマンド通信、Web API設定およびPJLink」 p.12
- 「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 p.13

コマンド通信、Web API設定およびPJLink

[ネットワーク] > [その他] に [コマンド通信]、[Web API設定] および [PJLink] が追加されます。

変更前のネットワークメニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		優先ゲートウェイ
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

変更後のネットワークメニュー (Ver.4.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	コマンド通信
		セキュアHTTP
		Webサーバー証明書

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
		Web API設定
		優先ゲートウェイ
		PJLink
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

[コマンド通信]

コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

[プロテクト]

ダイジェスト認証を用いて [Web制御パスワード] で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

[互換]

Monitorパスワード (半角英数字で16文字以内) を用いた平文認証を行うときに選択します。



Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは、[互換] を選択してください。

[Web API設定]

Web APIで通信するときの設定をします。

[Web API]

Web APIでプロジェクターを制御するときは [オン] に設定します。

[認証タイプ]

Web API通信を行うときの認証方法を設定できます。

- [Open]
認証を行いません。
- [Digest]
API認証 (ダイジェスト認証) を使用します。



詳しくは『プロジェクト用Web API仕様書』をご覧ください。

[PJLink]

[オン] に設定すると、PJLinkコマンドを使用して本機を制御できます。

全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定

[初期化] > [全初期化(工場出荷状態)] に [全初期化(ユーザー初期値)] と [ユーザー初期値設定] が追加されます。

変更前の初期化メニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(工場出荷状態)

変更後の初期化メニュー (Ver.4.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(ユーザー初期値)
		全初期化(工場出荷状態)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
		ユーザー初期値設定

[全初期化(ユーザー初期値)]

[ユーザー初期値設定] で指定した設定値を反映します。

[ユーザー初期値設定]

[全初期化(ユーザー初期値)] を実行するときに反映させる値を設定します。

以下の設定の初期値を設定できます。

- [光源モード]
- [明るさレベル]
- [一定モード]
- [A/V出力設定]
- [待機モード]
- [スタンバイ確認]
- [メッセージ表示]
- [確認音]
- [スリープモード]
- [シャッタータイマー]
- [シャッター解除]
- [カラーモード]
- [無線電源]
- [DHCP] ([有線LAN] メニュー)
- [コマンド通信]

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 p.14
- 「ポイント補正の最大値変更」 p.14
- 「Remoteパスワード設定の変更」 p.14
- 「Epson Web Controlの操作変更」 p.14
- 「Epson Projector Managementの操作変更」 p.15

Web APIを使ってプロジェクターを操作

Web APIを使ってプロジェクターを操作できます。また、ESC/VP21 コマンドの一部はWeb APIで実行することができます。詳しくは『プロジェクター一用Web API仕様書』をご覧ください。



- Web API通信には、API認証 (Digest認証) を使用できます。
- API認証のユーザー名は **EPSONWEB**、パスワードは [Web制御パスワード] で設定されているパスワードを入力してください。

ポイント補正の最大値変更

ポイント補正の最大値が拡大されます。広範囲でポイント補正ができるため、異なった形状のスクリーンへの投写が可能になります。

変更前のポイント補正量 (Ver.4.00)

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大32画素まで補正できます。

変更後のポイント補正量 (Ver.4.10)

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大600画素まで補正できます。

Remoteパスワード設定の変更

プロジェクターの [ネットワーク] メニュー > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] の [Remoteパスワード] 設定が変更され、ネットワークセキュリティが強化されます。

変更前のRemoteパスワード設定 (Ver.4.00)

半角英数字で最大8文字まで入力できます。

変更後のRemoteパスワード設定 (Ver.4.10)

半角英数字で最大32文字まで入力できます。

Epson Web Controlの操作変更

Epson Web Control 設定が変更され、ネットワークセキュリティが強化されます。

- [Monitorパスワード] はEpson Web Controlでのみ、[コマンド通信] が [互換] の時だけに設定できます。
- Web Controlパスワードとして、デフォルトパスワードの **admin** が設定されているときは、Epson Web Controlの [詳細設定] 画面を開く前にパスワード設定画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを変更してください。

プロジェクターへの不正アクセスを防止するため、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。

Epson Projector Managementの操作変更

ファームウェアをVer.4.10以降にアップデートした後に、Epson Projector Managementで認証エラーが起きるときは、以下のいずれかをお試しください。

- Web Control/パスワードがわかるときは、Epson Projector Managementのメイン画面で、複数の対象プロジェクターを選択し、編集メニュー > プロパティを開いて、[Web Control/パスワード] を入力します。
- Web Control/パスワードがわからないときは、プロジェクターの [ネットワーク] メニュー > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web Control/パスワード] を開いて、[Web Control/パスワード] を変更し、Epson Projector Managementで [Web Control/パスワード] を入力します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「スタッキング&ブレンド (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 p.16
- 「曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 p.16

スタッキング&ブレンド (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)

Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング&ブレンドが追加されます。[幾何学歪み補正アシストスタッキング&ブレンド機能] ウィザードを使うと、複数のプロジェクターからの投写映像をつなげたり重ねたりして、ひとつなぎの大きな明るい映像を簡単に作成できます。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

- 1 Epson Projector Professional Toolを起動します。
- 2 [レイアウト/監視] タブでスタッキング&ブレンドに対応しているプロジェクターをグループ化します。
- 3 [グループ作成] 画面で [ブレンド・スタッキング設定] を選択します。
- 4 [ブレンド・スタッキング設定] で、プロジェクターの位置を指定します。

- 5 [幾何学歪み補正アシストスタッキング&ブレンド機能] ウィザードを起動します。

必要に応じて、以下を行ってください。

- [スクリーンマッチング]：投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。
- [ポイント補正]：投写映像の画素ずれを調整します。

曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応します。

変更前の投写画面の合成 (Ver.4.10)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面のみに対応していました。

変更後の投写画面の合成 (Ver.5.00)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、以下の機能も曲面に対応します。

- スクリーンマッチング (凸面は対応していません)
- カラーキャリブレーション
- ブレンド
- スタッキング
- スタッキング&ブレンド

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。



カメラアシスト機能で曲面に投写した映像を補正する場合は、次の内容を確認してください。

- グループ内のすべてのプロジェクターが曲面補正機能に対応していること
- 本ソフトウェアによる投写映像の自動調整を実行する前に、スクリーン全体に対するリニアリティーの位置を決めて、スクリーン上にリニアリティー調整の目印となるシールなどを貼り付けること
- リニアリティー調整用のシールは投写面に対して等間隔に貼り付けること
- [幾何学歪み補正アシスト] ウィザードの形状補正時に、補正ポイントの数と位置をリニアリティー調整用のシールに合わせること

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.18](#)

Epson Projector Managementの操作変更

Epson Projector Managementを使うときの注意事項が追加されました。

- Epson Projector Managementに登録済みのプロジェクターの状態が [ネットワークエラー (Web制御パスワード認証エラー)] と表示される場合は、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用してプロジェクターを再登録してください。
- Epson Projector Managementを使ってプロジェクターのファームウェアを更新する場合は、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用してください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 p.19

EPMC監視制御

[ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] が追加されました。

変更前の [ネットワーク] メニュー (Ver. 5.00)

設定項目なし。

変更後の [ネットワーク] メニュー (Ver. 5.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	EPMC監視制御	<ul style="list-style-type: none">• EPMC設定• EPMC設定書き出し• EPMC設定読み込み

[EPMC監視制御] を [オン] にして必要な設定をすると、Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connectedクラウドサーバーと直接通信できます。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご確認ください

<https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/JA/index.html>

付録

次の点にご留意ください。

▶▶ **関連項目**

- 「一般のご注意」 [p.21](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.21
- 「商標について」 p.21
- 「著作権について」 p.21

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2021 Seiko Epson Corporation

Rev.1.0 2021.09 414197900

Rev.1.1 2021.12 414197901

Rev.1.2 2022.02 414197902

Rev.1.3 2023.07 414197903

Rev.1.4 2025.03 414197904